

# 2017 年度

## 派遣留学報告書

実習先：アメリカ セントラルミズーリ州立大学

実習期間：8月23日（水）～12月8日（金）帰国は9日

新潟国際情報大学  
国際文化学科  
学籍番号：21016026  
小柳俊貴

## 目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

## 付録

	研修日誌	8
--	------	---

## 1 研修先及び実習期間

研修先：セントラルミズーリ州立大学

研修期間：平成 29 年 8 月 23 日（水）～平成 29 年 12 月 8 日（金）

※帰国は 12 月 9 日（土）

## 2 研修先概要

### (1)大学について

セントラルミズーリ州立大学は、ウォーレンズバーグという都市に位置する。セントラルミズーリ州立大学は飛行機のパイロットなどの航空学の分野が有名であり、そういった将来航空系の職に就こうとしている学生が多くいる。その他にもスポーツが盛んでスポーツ関係に携わっている学生も多くいる。学校としてもスポーツが盛んで、ミュールズという学校のアメリカンフットボールのチームが人気である。ミズーリ州以外からも全米 43 州、世界 57 か国からの留学生が集まり学んでいる。学生数は約 13000 人で規模の大きい大学である。大学が位置しているウォーレンズバーグという街自体の人口が約 15000 人で学生人口とほとんど変わらない。閑静な街で非常に過ごしやすい環境である。

### (2)大学で行われている教育について

セントラルミズーリ州立大学は、質の高い教育を行っていることと、多くの国から留学生を受け入れていることに特徴がある。1 クラスの人数は 10 人前後で、充実した環境の中で学習を行うことができる。今回お世話になった語学コースは、英語を母語としない国の学生に英語の教育を行うものである。レベル 1 から 9 までの 9 段階に分けられていて、英語が苦手な学生も基礎からしっかり学習することができる。それぞれのレベルにあったクラスで学ぶことができるのでどの学生も学業面を充実させることができる。

## 3 研修目的

今回の研修の目的は、英語力のさらなる向上と実際に海外の地に行つて身をもって海外の生活に触れることである。日本人は他の国に比ベスピーキング力が欠けていると思う。そのウィークポイントを少しでも克服するために日本語の通じないアメリカに行き、英語を話して暮らす環境で生活することで改善させようと考えた。その他にも今回の留学では TOEIC で良いスコアをとることも目的として臨んだ。スピーキング力と同様にリスニング力もやや弱いと思うのでネイティブの人たちの話していることを理解できるようになれば、TOEIC や英検にも活かせると思う。

また、アメリカは日本と文化の面でも大きく違うので、日本との文化比較をすることも目的とした。実際に経験することによってわかりえることもあると思うのでたくさんの文化や慣習に触れて学んで、そのことを日本にも広めたり、日本の文化も発信していくことも目的とした。

## 4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

### 4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	
8	24 (木)	到着、日用品買い物
	25 (金)	チェックイン
	28 (月)	授業開始
	29 (火)	プレースメンステスト
	30 (水)	IEP クラス
	31 (木)	フットボール観戦
9	1～7	IEP クラス
	8～14	IEP クラス、メジャーリーグ観戦、スモア、AB のバレリーと会う
	15～21	IEP クラス、CP のコディと会う
	22～29	IEP クラス、プレゼン、映画鑑賞、バレリー試合
10	1～7	IEP クラス、コリアンチャーチ、テスト、ジャパンフェスタ
	8～14	IEP クラス、ミュージカル鑑賞、ホームカミングパレード
	15～21	IEP クラス
	22～30	IEP クラス、パンプキン農場
11	1～7	IEP クラス
	8～14	IEP クラス、ビデオプロジェクト撮影
	15～21	IEP クラス、サンクスギビング (ホストファミリーの家で夕食をいただく)
	22～29	サンクスギビング (セントルイスに旅行)、テスト
	30、31	IEP クラス
12	1～8	クラスファイナル、アワードセレモニー、帰国

### 4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

#### 1) チェックイン

学校のメールアドレス登録や、Wi-Fi 設定、学生証の発行、寮への居住登録など生活していくにあたって必要な諸事を済ませた。

## 2) プレースメントテスト

授業を受ける際のクラス分けを決めるテスト。成績によってクラスがレベル分けされる。内容は TOEIC の文法問題に類似したもの。

## 3) IEP クラス

英語やアメリカの歴史、文化を学ぶための授業。授業内容はリーディング、ライティング、コミュニケーションスキル、文法、アクセントリダクション、アメリカンヒストリー、ゼミ、USA&JAPAN、TOEIC である。リーディングや文法はペアワークが多く他の国の学生と多く関わることができた。発言する機会もふえて気持ち的にも積極的に became。

## 4) フットボール観戦

セントラルミズーリ州立大学のフットボールチームの試合を観戦した。日本ではあまりなじみがないがとても迫力があり、盛り上がりを見せていた。試合は勝利を収めた。

## 5) メジャーリーグ観戦

カンザスシティのチームであるカンザスシティロイヤルズの試合を観戦した。やはりアメリカでは野球は人気のスポーツなのでフットボール同様盛り上がりを見せていた。試合途中に観客も楽しめるイベントがありとてもよかった。

## 6) スモア

スモアとは火であぶったマシュマロをチョコレートと一緒にビスケットではさんで食べるお菓子のこと。アメリカの文化らしさを感じることができるいい体験だった。

## 7) AB (Activity Buddy)

アメリカ人の学生 1 人に対し日本人の学生数名といった形式で行われる。コリアンチャーチに連れて行ってもらったりなどお世話になった。

## 8) CP (Conversation Partner)

週 1 回 IEP の生徒と IEP 留学生が放課後を使いボードゲームをしたりお菓子を食べながら話をしたりなど、スピーキング力とリスニング力向上に役立ったり、外国人学生との関係を深めることができた。

## 9) 映画鑑賞

最新作の映画をウォーレンズバーグ市内にある映画館で鑑賞した。各々が見たい映画をそれぞれ見ていた。もちろんだが英語の音声で見るので英語力向上につながった。

#### 1 0) ジャパンフェスタ

カンザスシティで行われたジャパンフェスタに IEP イベントで行くことができた。日本の漫画や盆栽といった日本の文化を象徴するものが売られていたりした。日本の文化は世界からも人気があるのだと実感できた。

#### 1 1) ミュージカル鑑賞

学内にある劇場でミュージカルを鑑賞した。すごい迫力のある演技でとても感動した。

#### 1 2) ホームカミングパレード

学生たちが自国の国を紹介するためのパレードに参加した。それぞれの国の特徴を見ることができ、パレードは大きな盛り上がりを見せていた。

#### 1 3) パンプキン農場

ハロウィンを目前にパンプキン農場で動物を見たり、アップルサイダーというジュースを飲んだりした。その日はとても寒かったが、楽しめた。

#### 1 4) サンクスギビング

ディナーパーティーから始まり、アメリカの伝統的な料理を食べることができた。その他にもホストファミリーの家でも伝統的な料理を食べさせてもらい、貴重な体験をすることができた。友達とセントルイスに旅行に行くこともでき、非常に充実した休日を送ることができた。アメリカの文化についても再認識することができた。

#### 1 5) アワードセレモニー

IEP 留学生たちが授業課程を修了したことを祝うセレモニーが行われた。学生たちはみんないい顔をしていた。終わった後はみんなで写真を撮ったりなど留学の達成感を得ることができた。

### 5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

#### i) スピーキング力とリスニング力の向上

留学序盤はネイティブの人達が話していることをほとんど理解できず、物を買ったりする際なども苦勞することが多かった。しかし、留学中盤ころから相手が何を話しているのか理解することができ、しっかりと対応することができた。リスニング力に比例しスピーキング力も向上させることができた。そのおかげで TOEIC のリスニングスコアが各段に上がったので留学できて本当に良かった。

ii)アメリカの文化や慣習を身をもって経験すること。

たくさんのイベントやサンクスギビングを通して今まで知らなかったことを自分自身経験することができた。食生活やスポーツ面など興味を持つことができたので、また機会があればアメリカに行きたいと思う。知らなかったことを経験できるというのはとても素晴らしいことだと思った。

## 6 反省・課題

約3か月という短い期間だったが、自分自身一回りも二回りも大きく成長することができた。英語の能力だけでなく精神的な面でも変わったと思う。課題としてはTOEICのスコアをもっと上げることができたと思う。時間配分をもっとうまく使い時間内に終わらせることを今後の目標にしたい。

## 謝辞

まず留学するにあたって携わってくれた方々全員に感謝したいと思います。親をはじめ国際情報大学の先生方、留学先の大学の先生方などたくさんの人達が協力してくれたおかげで今回の留学を成功させることができました。この留学で得たことを忘れずにこれからも英語力の向上を目指しひたむきに頑張りたいと思います。最後になりますが、新潟国際情報大学からいただいた奨学金のおかげで留学参加をすることができ、大変貴重で有意義な時間を送ることができたことに対し本当に感謝いたします。

## 付録：研修日誌

8月23日 水曜日 午前
出発 11:10 栄PA
担当 矢口裕子先生
内容 ・栄PAから成田のホテルまでバスで移動 ・成田空港からダラス国際空港まで飛行機で移動 ・ダラスで入国審査 ・ダラスからカンザスシティまで飛行機で移動

## 移動の所感

飛行機で 10 時間を超える移動は初めての経験であったし、さすがに疲れが溜まった。入国審査はなんの問題もなくできたので幸先のいいスタートが切れた。最後に寮の手続きをして解散。

8月24日 木曜日 午後
チェックイン
担当 Valerie
研修内容 ・オリエンテーション ・学校の説明 ・E-mail、Wi-Fiの登録 ・ウォルマートで買い物

#### 具体的内容及び所感

アメリカでの生活が始まるという実感がだんだん湧いてきた。学校の施設の説明や学生カードの発行など諸事を行った。終わった後にウォルマートで日用品の買い物をし、これからの生活に備えた。

8月28日 月曜日 午前
IEP Class 4 教室名 Wood Building
クラス教員名 Matt and Laura
研修内容 ・授業のオリエンテーション ・教科書配布

#### 具体的内容および所感

IEP クラスがスタートした。慣れないことも多く心配なことが多かったが授業を受けてその心配はなくなった。先生方も丁寧かつ分かりやすい指導がとても助かった。同じクラスメートともいい関係を築きたいと思った。

8月31日 木曜日 午後
フットボール観戦
研修内容 ・大学のフットボールチームの試合を観戦。



### 具体的内容および所感

大学のフットボールチームの試合を観戦した。とても迫力のある試合で見ごたえがあった。フットボールの試合自体初めての観戦だったので楽しむことができた。結果は勝利を収め学生たちも盛り上がった。

10月14日 土曜日 午前
ホームカミングパレード ウォーレンズバーグ市内
研修内容 ・ホームカミングパレードへの参加。

### 具体的内容および所感

自国を紹介しながら街を練り歩くといった内容のパレードだった。町の子供たちにお菓子をあげたりしながら日本を紹介した。日本人学生は浴衣や甚平を着て日本らしさをアピールできた。町の人から Great!!などの言葉をかけられ参加できてよかったと思えた。

11月16日～11月26日
サンクスギビングデイ
研修内容 ・サンクスギビングディナー参加。 ・ホストファミリー宅で夕食をいただく。 ・セントルイス旅行

### 具体的内容および所感

サンクスギビングディナーではターキーやマッシュポテト、パンプキンパイといったアメリカの伝統的な料理を食べることができた。ターキーは本当においしかったのでまた食べたい。ホストファミリーの家は全部で3軒行くことができ、それぞれアメリカの料理を出していただきどれもとてもおいしかった。セントルイスへの旅行も充実させることができた。アメリカでも一番を競う大きさの動物園に行ったり、ショッピングモールで買い物をしたりなど留学終盤にいい思い出をつくることができた。

12月6日 火曜日 午後
アワードセレモニー IEP students and teachers
・IEP 留学のクラス課程修了を祝うセレモニー

・賞状授与
・外国の友達やお世話になった先生方と写真撮影

### 具体的内容および所感

留学生の IEP クラスを修了したことを祝うセレモニーに出席した。どの生徒も達成感にあふれたいい表情をしていて素晴らしいセレモニーだった。ひとりひとり修了の証として賞状と T シャツをもらうことができた。その後クラスメートやお世話になった先生方と写真撮影をして最後にお別れの挨拶をした。留学生活最高の締めくくりになったと同時に最高の思い出をつくることができた。